

桃太郎大通りへ駐輪場

年度内に放置自転車対策

市議会市側方針

6月定例岡山市議会は24日、個人質問を続行。吉本賢一（新風会）、河田正一（共産党）、千間勝己（新風会）、佐藤人海（自民党・無所属の会）の4氏が市政全般をたずねた。市側は桃太郎大通りの放置自転車対策として2時間無料の駐輪場を2013年度中に歩道上に確保し、14年度から自転車走行スペースを整備する考えを示した。個人質問はこの日で終了。25日は常任委員会がある。

佐藤氏は「（桃太郎大通りに面した）ドレミの街前のバス停付近には放置自転車が見受けられる」とし、駐輪施設の整備などを求めた。

山川修都市・交通・公園担当局長は「（同

で、生み出した部分に自転車走行スペースを

整備する方針を示した。



放置自転車が目立つ桃太郎大通りの歩道。市は駐輪場を歩道に整備する方針

市が10年に同バス停周辺で行った調査によると、1時間当たりの路上駐輪台数はピーク時で平日112台、休日143台。平

日、休日とも2時間未満の駐輪が大半だった。

計画では、桃太郎大通りのJR岡山駅前から西川までの区間で、

通りの南北の歩道に駐輪場を整備。場所や収容台数は検討中だが、

植栽の間など通行の妨げにならない箇所を想定している。料金は

他の市営駐輪場と同様に最初の2時間を無料とする。2時間を超えた場合の料金は未定。

桃太郎大通りは同駅前から岡山シンフォニーホール前までの約1キ。市は、自転車走行スペースを両側に設ける予定。歩道に自転車の走行位置を明示し、

歩行者とのすみ分けを図る。

自転車は車道を走るのが道路交通法の原則だが、市街路交通課は

「桃太郎大通りは車道に十分な自転車レーン空間を確保できない。幅が最大約10メートルある歩道を利用することとした」としている。

（松原悠）

平成25年6月岡山市議会定例議会の
さとう人海個人質問一問一答の提案内
容と当局の答弁が山陽新聞市民版に掲
載されました。